

江東区学校施設の将来ビジョン（素案）概要版

1. 背景と目的

■背景と目的

- 江東区の学校施設は「**江東区立小中学校の改築・改修に関する基本的な考え方**」（平成24年）を元に整備を進めてきた。
→策定から12年が経過。社会、教育環境の変化に対応して見直す必要がある。
- 社会、教育の変化に対応して、学校施設に求められる機能や空間のありかたについて定め、今後の施設整備（**改築、改修**）の指針とする。

■計画の対象

- 区立小中学校、義務教育学校 69施設

■計画の位置づけ

- 「教育推進プラン・江東」の目的をハード面から実現するための計画
※各関連計画と整合

■計画期間

- おおむね10年程度とし、必要に応じて見直す。



2. 学校施設の現状

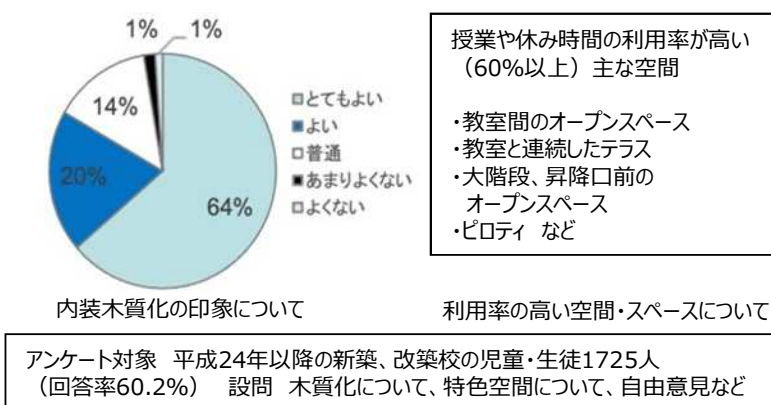
■現状1：近年の学校施設整備

改築、改修の計画的な推進	・新築2校、改築6校 増築13校 大規模改修12校 ・バリアフリー化（エレベータなど） ・トイレの洋式化 ・体育館の空調
環境配慮	・屋上緑化、壁面緑化、 太陽光発電設備、内装の木質化 L E D照明等
防災、安全安心	・非構造部材（吊り天井等）・災害用電源盤の設置 ・冷暖房設置 など（改築校）・体育館の上層階設置 ・マンホールトイレ ・雨水流出抑制対策
地域関連	・きッズクラブ活動場所の確保、計画時のワークショップによる多様な声の反映

■現状2：環境の変化

- ①社会状況の変化
・気候変動、災害（地震、風水害）の激甚化
・人口増への対応 ・SDGs ・デジタル化
- ②教育環境の変化
・新たな学び、学び多様化 ・ICT環境の変化
・学級編成標準の見直し（小学校35人学級）
・学校における働き方改革
- ③人（利用者）の変化
・学校支援の強化
・地域連携の拡大
・こどもの多様化 など

■現状3：利用状況・意見



3. 学校施設の課題と魅力

■課題

- ・教育環境の変化への対応
- ・気候変動に対応した室内環境改善や屋外活動の対策
- ・働く環境の改善、維持管理負担軽減
- ・防災機能の強化 ・防犯性の確保、プライバシー配慮

■魅力

- ・改築・改修実績の蓄積 ・豊富な緑地整備 ・環境配慮
- ・木質化による豊かな空間 ・ワークショップによる計画プロセスや実現した特色ある空間

改善、対応

今後の学校施設整備

環境変化等に応じて生じた課題の改善とこれまで培ってきた魅力を踏まえて整備

継承、発展

4. 目指す姿と基本方針

■目指す姿

今後の学校改築、改修にあたり、現状と課題、区の関連計画、学校に関わる多様な意見をふまえ、目指す姿を定める。

みんなのかがやきを支える学校施設

- ①こどもの充実した学校生活を支える学校施設
- ②こどもを支える先生や地域が安心して使える学校施設

■基本方針

目指す姿を実現するために学校施設に求められる役割として、6つの視点＝基本方針を設定する。

1. 教育環境の充実

- ・多様な学習形態に対応
- ・学びを支える空間整備
- ・各学校や地域の特色を生かす

3. 地域の中の学校

- ・放課後支援、地域連携の場の確保
- ・施設開放の場の確保
- ・良好なまちづくりに資する外部空間

5. 自然環境への配慮

- ・省エネ性能に優れた施設整備
- ・質の高い魅力ある緑化
- ・木材利用推進

2. 快適な施設環境確保

- ・施設のバリアフリー化
- ・衛生的で快適な施設環境
- ・学校の働き方改革に対する対応

4. 防災機能の強化

- ・拠点避難所、水害対策強化
- ・非構造部材の耐震化
- ・まちの防災性向上への寄与

6. 安全・安心への対応

- ・日常生活の安全確保
- ・防犯性、高いセキュリティ
- ・児童・生徒のプライバシー配慮

5. 施設整備方針

- ・目指す姿、基本方針を具体化するための施設整備方針を定める。

■配置方針

- ・法令制限（高さ、日影等）に加え、周辺環境、校庭の状況、利用者の声などを考慮し決定。
- ・地域の良いまちづくり及び防災性の向上に配慮。
- ・校庭への緊急車両の動線に配慮。
- ・死角が発生しにくい計画、セキュリティに配慮。
- ・児童・生徒数の状況に柔軟に対応出来るように計画。

■建物の整備方針

- ・ユニバーサルデザインの視点に基づいた誰でも利用しやすい作り。
- ・水害の避難利用時に使用する施設と設備は、浸水高さを考慮して上階に設置。
- ・熱負荷軽減を目的に緑化し、魅力ある緑化空間を形成。
- ・高断熱や高効率機器によって、省エネルギー化を推進。
- ・日々の清掃やメンテナンスのしやすさに配慮した計画。
- ・改修を考慮した更新性の高い平面立面計画。
- ・地域開放時と学校運営が区分されセキュリティを確保した計画。

■各空間の整備方針

- ・普通教室 ・特別教室 ・多目的、少人数教室 ・図書室
- ・トイレ ・給食室 ・職員室 ・体育館 ・昇降口 ・共用空間 ・外部 ・プール

6. ビジョンの実現に向けて

- 改築で実現すること、改修で実現すること・・・可能な限り改修でも実現
- 工事中的教育環境確保・・・仮校舎の活用のほか、周辺状況によって敷地内で教育環境確保
- 教育とハードの連携・・・施設も一つの教材として活用できるような意図伝達や情報案内を工夫
- 多様な声の反映・・・計画時のワークショップで多様な声の反映、整備後に利用者アンケート等でフィードバック
- コストの管理・・・建設コスト、維持管理コストの縮減